

# 肝ぞう通信

2025年度 第9号 《超音波エラストグラフィについて》

## お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。

当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階  
総合相談室

受付時間：(休診日は除く)  
月～金：9:00～15:00  
土(第1・3・5)：9:00～12:00

## 豆知識

超音波エラストグラフィは、非侵襲的に肝線維化診断に役立つ検査です。

## 次回号

テーマ：  
MASLD、MASHについて

## 発行責任者

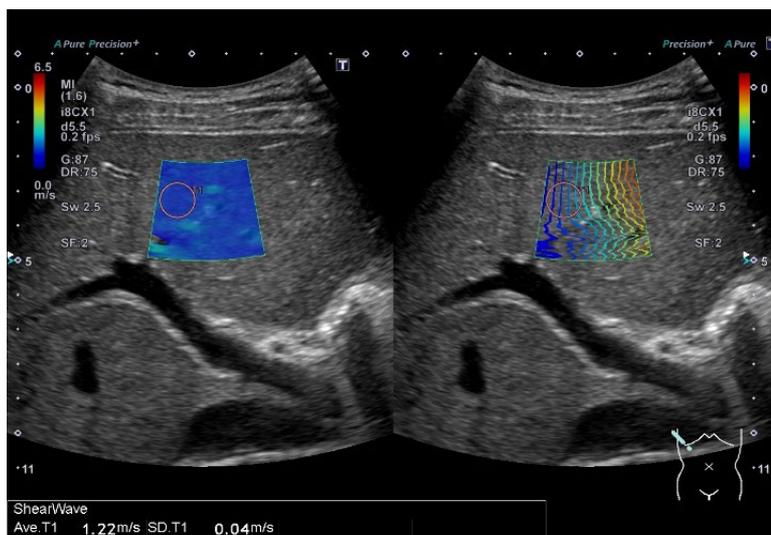
東海大学医学部付属病院  
肝疾患医療センター長  
加川 建弘

## 超音波エラストグラフィって？

「超音波」とは聞くことを目的としない高い周波数(20キロヘルツ以上)の音と定義されています。「超音波検査」はこの超音波を用いて、腹部、乳腺、甲状腺、血管、心臓などの体のあらゆる部位の状態を評価することが出来る検査です。

さて、従来は肝生検が肝線維化診断のゴールドスタンダードとされてきました。しかし直接肝臓に針を刺して検査するため、侵襲性が高く、合併症(出血など)のリスクが避けられません。これらを背景に超音波検査で用いられる超音波診断装置で非侵襲的に肝線維化診断に役立つことが出来る検査の「超音波エラストグラフィ」が普及していきました。

近年では超音波エラストグラフィも保険収載されるようになり、肝線維化診断の大きな役割を担っています。



超音波エラストグラフィの画像(ボランティア被検者にて記録)